

身の回りの合同な図形を見つけよう

単 元	合同な図形	対象学年	5 年
ね ら い	身の回りの生活の中から合同な図形を見つける活動を通して、合同な図形についての理解を深める。		

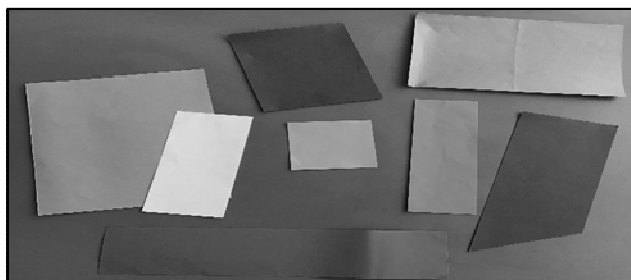
1 準備するもの

教師：教師用 iPad, ワークシート, 大型テレビ, 画用紙

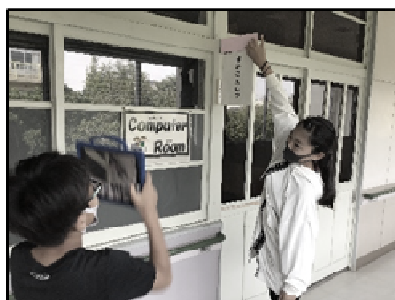
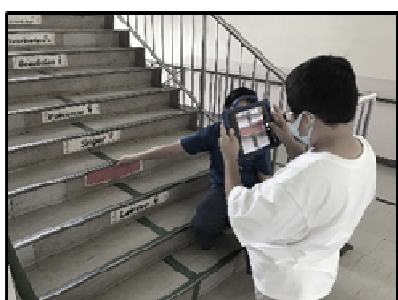
児童：iPad (2人で1台)

2 学習のしかた

- (1) ぴったり重なる図形を合同な図形と呼ぶことを確認する。
- (2) 教科書に出てくる図形以外に合同な図形はないか予想し、課題を設定する。



- (3) ペアに1枚の画用紙を配付する。
- (4) 配付された画用紙が重なりそうな箇所を予想する。
- (5) 校内で画用紙がぴったり重なった箇所やぴったりに近い箇所を探す。



- (6) iPadのカメラ機能を使って撮影する。(画用紙をその箇所と重ねた状態を撮影する。)
- (7) ぴったり重なったり, ぴったり重ならなかったりした理由をワークシートに記入する。
- (8) 本時の学習で学んだことを, 大型ディスプレイに撮影した写真を映しながら発表し, ぴったり重なる理由(合同な図形といえる理由)を全体で追究する。

3 学習上の留意点

- ・ペアに配付する画用紙は、校内にある箇所にぴったり重なるものと重ならないものを教師が事前に調べて準備をしておく必要がある。
- ・全体で追究する時間を長く設定し、合同な図形の定義を全員が理解できるようにする。

4 学習の効果

- ・算数が苦手な児童も校内を歩き回り、ぴったり重なる図形を見つけるという活動に進んで取り組むことができた。
- ・2人1組で活動したことで、合同な図形かどうか判断するために、角の大きさや辺の長さを調べる際の分度器や定規の使い方を指摘し合いながら正しく行うことができた。
- ・2つの図形において、角がすべて等しく、辺の長さだけが異なる場合も考えることで、小学6年「図形の拡大と縮小」や中学3年「図形と相似」につなげることができる。

5 参考資料

合同な図形ワークシート

() 番 名前 ()

<今日の課題>	
<活動の手順と予想>	
活動の手順	予想
①ペアで1枚画用紙を持ち、その画用紙の形に似た形の物を学校の中から探す。	・ぴったり重なる形の予想 (例：教室のゆかのーマス)
↓	()
②見つけたら、画用紙と似た形の物を重ね合わせてiPadのカメラで写真を撮る。(①②：12分)	()
↓	()
③教室へ戻り、重ねたときの角度や長さについて気付いたことをワークシートに記入する。(5分)	()
↓	
結果	まとめ
・ぴったり重なった形 ()	
<気付いたこと>	
<今日の学習で感想や学んだこと、もっと学習したいことなど> (☆たくさん書こう。)	
.....	
.....	